## 新型コロナウイルス感染拡大に向けた保健所の体制

【各フェーズにおける保健所人員体制のイメージ】

第5波 相当

3人

第5波 の2倍

3人

10人 6人

フェーズ

【新規陽性者】 15人未満/1日



【新規陽性者】 15~30人未満/1日 フェーズ

【新規陽性者】 30~300人未満/1日 【区対応の自宅療養者】 50~600人未満

フェーズ

【新規陽性者】 300~600人未満/1日 【区対応の自宅療養者】 600人以上

患者対応(疫学調査·健康観察等)

他 部: 9人

患者対応(疫学調査·健康観察等)

他 部: 9人

- | 保健師

全庁的に応援(保健師・事務等)

患者対応(疫学調査·健康観察等)

78人(+41)

全庁的に応援(保健師・事務等)

3人 10人 担当課:19人 保健師 衛牛部: 4人

- 保健師

担当課:19人 保健師 10人 衛生部: 9人(+5) 生活衛生 3人(+3)

衛生部内より応援(保健師・事務等)

担当課:19人 保健師 10人 26人(+22) 衛生部:49人⟨+40⟩≺ 3人(+ 1) 他 部:10人(+1) 1人(+ 1)

医師

患者対応(疫学調査·健康観察等)  $130\lambda(+52)$ 

医師 担当課:19人 保健師

66人(+40) 衛生部:99人⟨+50⟩~ 生活衛生 30人(+10) 3人

他 部:12人(+2) 3人(+ 2)

**B**事務処理 (発生届受理・HER-SYS登録等)

担当課:15人 都派遣 4人 事務処理(発生届受理·HER-SYS登録等)

担当課:15人

🏨 衛牛部: 4人⟨+4⟩ ≺ 事務 4人(+4) 事務処理(発生届受理·HER-SYS登録等)

11人 担当課:15人 4人

衛生部: 6人⟨+2⟩ - √ 事務 6人(+2)

他 部: 2人⟨+2⟩ - 事務 2人(+2) 事務処理(発生届受理·HER-SYS登録等) 35人(+12)

11人 担当課:15人 4人

衛生部:11人(+5) 11人(+5)

他 部: 9人⟨+7⟩ √ 事務 9人(+7)

**■**コールセンター (発熱相談等) 14回線

足立保健所内:14回線(従来の電話番号)

担当課:20人

√ 人材派遣 20人

■コールセンター (発熱相談等) |4回線

足立保健所内:14回線(従来の電話番号)

─ 人材派遣 20人 担当課:20人

コールセンター (発熱相談等) 44人〈+24〉30回線〈+16〉

足立保健所内:14回線(従来の電話番号) √ 人材派遣 20人 担当課:20人

本 庁 舎 内:16回線(異なる電話番号)

**企加衛生部: 4人 鋤他 部:20人** 事務 20人 ■コールセンター (発熱相談等) 30回線 **44**  $\lambda$ 

足立保健所内:14回線(従来の電話番号)

担当課:20人 √ 人材派遣 20人

本 庁 舎 内:16回線(異なる電話番号)

衛生部: 4人

他 部:20人 - 事務 20人

## 新型コロナウイルス感染拡大に向けた保健所の体制

## BCPにおける保健センター及び保健所の業務について

## 【概要】

各フェーズごとに残さなければいけない業務は以下のとおり

		フェーズ③	フェーズ④
フェーズの基準	新規陽性者数	30~300人未満/1日 (令和3年8月相当)	300~600人未満/1日 (令和3年8月以上)
		50~600人未満 (令和3年8月相当)	600人以上 (令和3年8月以上)
保健センター業務		以下を除き、業務は延期・中止 ①予防接種等の申請窓口受付業務(パソナ委託) ②乳児(3・4か月)健診 ③支援が必要な妊婦・精神障がい者等ハイリスクケースへの個別支援 ④虐待・自殺関連・警察官通報等緊急対応	業務は原則すべて延期・中止するが、以下は対応 ①予防接種等の申請窓口受付業務(パソナ委託) ②虐待・自殺関連・警察官通報等緊急対応 ③相談対応は予約制
保健所業務 (生活衛生課·衛生試験所)		通常業務	①窓口業務縮小(営業許可等のみ) ②食中毒・生活衛生に関する緊急対応 ③検便等検査(保育園等未閉鎖施設への対応)